

企業行動・ 倫理規範



低侵襲手術から
個別化医療、そしてその先まで

目次

ビジョンとミッション	4
はじめに	4
1. #BEMEDACTAの価値観	5
2. 行動の倫理原則	6
3. 適用範囲	6
4. 人材の価値及び機会均等	7
5. 健康、安全及び環境保護	8
6. 従業員等及び協力者等の義務と責任	8
7. 公明正大であること及び腐敗防止	9
8. 利益相反	10
9. 機密保持及びプライバシー	10
10. インサイダー取引	11
11. 知的財産及び産業財産	11
12. 会社の資産・資料の使用	11
13. マーケティング・広告の実践	12
14. 医療従事者・医療機関との交流	12
15. 競争及び公正取引	14
16. 情報公開	14
17. 調査及び公的機関への対応	14
18. 購買業務	15
19. 違反及び報告	15
20. 承認及び改訂	16
21. 本規範の伝達及び公表	16

ビジョンとミッション

Medactaグループ(以下「**Medacta**」又は「**当グループ**」といいます)は、人工関節、脳神経外科及びスポーツ医学を展開しています。患者さんに対する責任は、責任あるイノベーションと細心の設計を通じて、継続的な改善を追求することに反映されています。

我々のビジョンは、我々の経験と情熱に基づいて、世界中の整形外科・脊椎手術の患者さんのケアと幸福を向上させることです。我々は、我々の外科的なイノベーションと医学教育プログラムを通じて、医療の持続可能性に重点を置きながら、全ての患者さんが健康で活動的な生活を送れるようにすることを目指しています。

我々の使命は、責任あるイノベーションを通じて、高度な外科的アプローチ、インプラント及び器具類を開発することにより、患者さんの経験を変えていくことです。この目標を念頭に置いて、我々は、我々と世界中の外科医の方々や大学との連携を強化し、医学教育、革新的な技術、そして一人一人に合った解決策に常に投資することに注力しています。

Medactaは、知識とアイデアの十分な交換を継続的に行うことを重視しており、Medactaの製品は絶え間のない研究の成果であり、市場の需要と技術的・科学的発展と常に合致しています。

はじめに

この企業行動・倫理規範(以下「**本規範**」といいます。)は、我々のビジョンとミッションを反映しており、我々のポリシーと手順を支える価値観と指針を規定しています。

本規範においては、Medactaが自らを認識し、企業文化の基礎を形成する一連の原則及び倫理的価値観のみならず、Medactaと関わる全ての人に求められる行動基準が定義され、形式化されています。

本規範及び本規範において記載されている原則は、Medactaの利害関係者に対して、適切な行動・不適切な行動についての基準を示すものであり、また、特定の手順又は指示の対象となっていない行為についての評価基準ともなります。



1. #BEMEDACTAの価値観

Medactaは、企業文化が持続可能な成功の鍵であり、成長に積極的に貢献すると確信しています。Medactaの目標は、従業員一人一人が会社の文化と価値観を理解した上でそれを支持することであり、継続的な改善をうまく実施し、維持することです。

これらの価値観が常に生き続けること、そして何よりも、これからMedactaに加わる全ての人達に受け継がれていくことが最も重要なことです。

当グループの活動は全て、Medactaがその企業文化において目指す価値観である**#beMedacta**に従って実施されなければなりません。

MEDACTA CULTURE: 持続可能な成功の鍵

健全性



“

すべての事業を公正に行い、正しく行えば物事を間違えることはない知っている。

”

信頼性と責任感



“

人の価値を信じ、人が成長の原動力であることを認識する。

”

結果志向性



“

目標を超えるために努力する。

”

チームワーク



“

ビジネスにおける偉業は決して1人では達成されない。

”

忠誠心



“

Medactaの一員であることに誇りを持つ。

”



2. 行動の倫理原則

Medactaは、以下の原則を厳守します。

» 適法性

Medactaは、国内法及び国際法を尊重して、自らが事業を展開している国の現行の規制を遵守して行動します。Medactaは、新しい規制の導入及び現行規制の変更を注意深く常に監視して、自らの活動を新しいルールに適合させています。



» 責任感

Medactaは、社内外の利害関係者に対して、自らの目的、活動及び結果について説明を行うことを約束します。Medactaは、達成した経済的・財務的成果を明確、正確、かつ適時に表明し、また、透明性、明確性、健全性及び妥当性のある情報をもって報告を行います。



» 機密保持

Medactaは、自らの活動の過程において受け取った情報の機密保持を保証し、データ及び情報の違法な取扱いを拒否します。



» 社会的・環境的責任

我々の目標は、持続可能性が我々の企業文化の重要な一部や長期的な事業戦略の基本要素であるのとどまらず、我々の活動に関わる全ての人達の間で共有される価値観となるようにするためにできる限りのことを行い、我々が属する地域やコミュニティの持続可能な開発政策に積極的に貢献できるようにすることです。我々は、我々の事業活動のエネルギー効率を改善し、再生可能エネルギーの使用を奨励し、そして我々の製造工場における環境管理システムを継続的に改善することを通じて、我々が環境に与える影響を継続的に低減することに全力で取り組んでいます。



» 平等性・機会均等

Medactaは、個人を尊重し、平等な待遇を推進し、そしてあらゆる形態の差別と戦うことを保証します。我々の従業員は世界中で事業を展開しており、様々な経験・経歴の持ち主が混在しています。我々は、この多様性が、我々のイノベーションと外科医との継続的な協力関係を支えていると信じています。我々は、人種、性別、年齢、国籍、宗教、障害又は個人的信条に基づきいかなる差別も回避しながら、各自のスキルや能力を伸ばす機会を全ての従業員等に平等に与えます。



3. 適用範囲

本規範は、Medactaグループの全ての会社に適用されます。本規範の原則及び規定は、Medactaの会社機関（つまり、取締役会メンバー及び当グループの経営陣）等の会社を代表する者、有期・無期の契約社員、パートタイム・フルタイムの従業員（以下「従業員等」といいます。）、そして、一時的な関係であるとしても、Medactaと協力を行うか、又はMedactaの名前で、若しくはMedactaの利益のために行為するあらゆる第三者（販売店、販売代理店、臨時的協力者を含む協力者、臨時的労働者、コンサルタント（以下、総称して「協力者等」といいます。）を含みます。）の全てに対して、例外なく、拘束力を有します。

各従業員等及び協力者等は、道具と時間を自由に最大限に活用し、引き受けた任務に関連する責任を引き受けた上で、専門的な姿勢、勤勉さ、効率性、そして公平性をもって各自の業務及び／又は任務を遂行します。Medactaは、本規範で定められている価値観と原則を尊重することをあらゆる商取引関係の基礎とし、自らの顧客及び供給業者（以下、総称して「パートナー等」といいます。）に対して、従業員等及び協力者等に求めるレベルと同程度の誠実さをもって本規範及び本規範中の規定を遵守することを求めます。

本規範は、Medactaが事業を展開している様々な国の文化的、社会的及び経済的な多様性を考慮に入れて、スイスの国内及び国外で効力を有します。現地の規制によって本規範よりも厳格なルールが定められている場合には、当該ルールが本規範より優先されることとなります。また、Medactaは、自らが加盟している専門家団体の倫理規範（付属書類1）についても認識しています。

4. 人材の価値及び機会均等

Medactaは、人材の重要性を認識し、会社の成功と発展にとって不可欠な要素は、そこで働く人々の専門的な貢献であると考えています。Medactaの人材管理は、相互の忠誠と信頼という枠組みの中で、一人一人の尊厳、人格及び専門性を尊重することを基本としています。

雇用関係の管理は、企業の価値観のみならず、実力主義の基準に基づいています。この基準は、従業員等や協力者等の選択を含めて、Medactaとの間で確立されているあらゆる取引関係において遵守されています。

Medactaは、人間としての最高の価値を認識しており、その不可侵の権利を保証するだけでなく、発展させることにも尽力しています。Medactaは、国際連合の世界人権宣言及び国際労働機関（ILO）の基本条約の一般的な枠組みの中で事業を展開しています。

Medactaは、各従業員及び協力者が持っている豊富なスキルを向上させ、増強するために、人材の価値を保護し、促進します。またMedactaは、従業員等及び協力者等の物理的・道徳的な健全性、個人の尊厳、そして個人の信条や意見を尊重する労働条件のみならず、安全で健全な職場環境、特に児童労働及び強制労働を拒絶し、労働時間や報酬に関する規程を遵守することも保証しています。

Medactaは、性別、性自認、性的指向、地理的な出身地、人種、言語、個人的・社会的な条件、宗教的・政治的な信条、マイノリティに属していること、配偶者の有無、妊娠していること、年齢、健康状態又は障害に基づいたいかなる差別も認めません。

Medactaは、達成すべき具体的な目標と、それを追求するための方法に関しては、従業員等及び協力者等の関与と権限委譲を促進する職場環境を支持しています。また、Medactaは、本規範の原動力となっている現行の規制及び価値観を全面的に尊重し、常勤又は非常勤の関係においても平等な手段を用いて、労働の条件及び機会、研修、開発、及び職業的成長に関して平等な機会を促進することを支持しています。Medactaは業績評価プログラムを通じて従業員等の業績を定期的に調査し、各自の功績を評価する報酬プログラムを提供しています。

健全な対人関係にとって有利な、連帯、尊敬及び協力の原則に基づく安全で穏やかな職場環境を保証するため、Medactaは、ハラスメントや暴挙とみなされる可能性のある行為に反対することを約束します。すなわち、労働者の個人又はグループに対する威圧的、敵対的、又は孤立的な職場環境の創出、他者による業務遂行への不当な干渉、専ら個人的な競争心を理由とした他者の個人的な業務の展望の妨害、人種差別的又は中傷的な性質を有する身体的又は言葉による行為、不適切なユーモア、セクシャルハラスメント、そして人の感受性を害する可能性のある言動は避けなければなりません。

Medactaでは、平等な機会を奨励し、促進しています。



5. 健康、安全及び環境保護

Medactaは、労働条件を保護する現行の法律に沿って、自らの活動を行っています。

Medactaは、従業員等、協力者等、パートナー等、そして自らが事業を展開している地域社会の安全と健康を保証するために、安全文化の普及と定着、リスク意識の向上、必要なあらゆるリソースの活用に取り組んでいます。

このような理由から、Medactaの活動は、職場での健康と安全に関する現行の法律に従って管理されています。従業員等は、各自の職務の範囲内において、Medactaが主催する講習会に参加することによって、職場におけるリスクの防止と、安全衛生の保護に貢献しています。

Medactaでは、環境保護が自らの事業活動における重要な要素であると考えており、環境とテリトリーを尊重し、保護するという原則に触発されています。これらの原則は、本質的価値と、人間やその他の動物種の健康に及ぼす影響の双方に関して、最も重要なものだと考えられています。そのため、Medactaは、現行の環境規制を尊重し、自らの事業活動が最高水準の環境安全に適合するよう取り組んでいます。

Medactaでは、従業員等、スタッフ、パートナー等、そして我々が事業を展開している地域社会の安全と健康の確保に取り組んでいます。

6. 従業員等及び協力者等の義務と責任

Medactaの従業員等及び協力者等には、各自の活動の遂行においては適切な方法で資源と時間に投資し、勤勉さ、専門的能力、そして忠誠心を持って業務を遂行することが求められています。Medactaは、従業員等や協力者等との信頼関係を構築する上では、Medactaの活動を具体的に規定する規則を熟知して適用すること、そして現行の法律及び規制のみならず、本規範の内容を尊重することが不可欠な要素であると考えています。各従業員等には、重大な不正行為、又は現行の社内手続、法令及び規制に違反する事態を知ったときは、上司に報告することが求められています。

各従業員等及び協力者等は、顧客との関係において、また、各自の業務活動中に接する対外関係においては、要求があった場合又は必要な場合には、完全かつ適切な情報を提供し、そして、いかなる状況においても説明のつかない行為や不正な行為、又は相手方の判断の独立性を損なうことを目的とした行為を避けて、礼儀、協力及び透明性についての基準に従った行動をとる義務があります。

第三者、サプライヤー、クライアントとの関係においては、また、業務上接する対外関係全般において、全ての従業員等及び協力者等は、間接的であるにせよ、Medactaのイメージや商業上の評判を損なうような行為は避けなければなりません。それぞれの従業員等及びそれぞれの協力者等がMedactaのイメージを反映しており、その結果として、会社の専門的基準及び価値観と一致する方法で行動する義務があることを覚えておくことが重要です。

各従業員等及び協力者等は、パートナー等との間においては、礼儀をわきまえ、礼節を重んじ、市民としての義務に従った行動をとる義務を負っています。各従業員には、職場において適切な服装及び衛生状態を期待し、尊重する権利及び義務があるとみなされます。

Medactaでは、我々は、勤勉さと、専門的能力、そして忠誠心を持って働きます。

7. 公明正大であること及び腐敗防止

Medactaは、公正、自由、そして忠実な競争が、会社の成長と継続的な改善においては決定的な要因であると認識しています。

従業員等、協力者等及びパートナー等が各自の職務を遂行する際に行うあらゆる行為や業務、そして行動は、会社の資産やイメージを保護するためにも、現行の規制及びMedactaの社内手続に従って、透明性、正確性及び相互尊重、並びに形式及び実質の両面における正当性に基づいて行われます。

Medactaは、経済的な目的を達成するために、不公正な目的で行われる行動や活動に異議を唱えており、この目的に向けて、コーポレート・コンプライアンス・プログラムはMedactaが所在する国におけるコンプライアンスについての国際的な原則を満たすことを目的としています。文書化された方針や手順においては、Medactaのために働くあらゆる従業員や仲間達が遵守しなければならないコンプライアンス領域の主な側面が網羅されています。従って、腐敗行為、違法な便宜供与、談合行為、自己又は他者に対する個人的な利益の勧誘は、直接的に行う場合も第三者を通じて行う場合も、例外なく禁止されています。

Medactaと取引関係にあるか、又は取引関係を結ぼうとしている当事者から金銭を受領することは禁止されています。

職務上の行為に影響を及ぼしたり、報酬を与えるために、直接的であるか間接的であるかを問わず、第三者である公的機関又は民間の職員に対して金銭、物質的利益又はその他何らかの種類の便宜を提供したり、提示することは決して認められません。

特に、以下の行為は認められていません。

- 当グループは、その経済的な利益よりも、全ての法令を遵守することを無条件に優先しているので、法令遵守を犠牲にしてMedactaの利益を追求すること、
- 社会的利益を損なうような形で個人的利益の追求及び／又は第三者の利益を追求すること、
- 個人的な利益及び／又は第三者の利益のために、Medactaの名称や評判、そして自らの職務又は役割の遂行において知り得た情報やビジネスチャンスを悪用すること。

各従業員等及び協力者等は、自己又は他者のために、当グループに損害を与えたり、自己、Medacta若しくは第三者に不当な利益をもたらす可能性のある圧力、推薦又は報告を受諾又は実行したり、あるいは金銭若しくはその他の便宜の約束又は不当な申し出をすることはできません。

従業員等又は協力者等のいずれかが、第三者から申し出又は便宜の要求を受けた場合には、当該従業員等又は協力者等は直ちに、自らの直属の上司、又は適切な場合には適切な指示を得るために報告するよう要求されている者に対して、連絡するものとします。

いかなる形であるかを問わず、顧客や、顧客に雇用されているか顧客のために行う自然人又は法人、あるいはその家族に対して、直接又は仲介者を通じて、贈答品や便宜を提供若しくは約束したり、又はそれらの提供や意思決定を誘導したり、促したり、あるいは報酬を得るために顧客に違法な圧力をかけることは固く禁じられています。

パートナー等との関係は、効率性、忠誠心、公平性及び取引のトレーサビリティの基準を遵守して、この目的のために制定され、実施されている社内手続に従って行われるものとします。

Medactaは、高品質の製品とサービスを競争力のある条件で提供し、この分野の規制や消費者と競争を保護する規制を遵守することを通じて、自らの活動を追求しています。

従業員等及び協力者等は、Medactaと経済的・商業的な関係を結んでいる全ての者の資格について、常に確認を行っています。更に、Medactaは、全ての取引を文書化し、透明性を確保することを求めています。この意味で、いかなる金額についても現金での受領を禁止しています。

8. 利益相反

従業員等、協力者等、取締役会メンバー及び当グループの経営幹部は、各自の職務を遂行するに当たり、Medactaの目的や一般的な利益を追求するものとし、このため、Medactaとの関係に関わる義務といかなる形であれ両立しない活動、行動及び行為は慎むものとします。従業員等及び協力者等は、直接的に又は第三者のために、Medactaの利益と相反する利益を得る可能性がある状況又は活動については、状況を考慮した上で、遅滞なく、上司又は必要な場合には報告を行うべき者に対して連絡しなければなりません。この点に関して、従業員等及び協力者等は、Medactaが下した判断を尊重します。

9. 機密保持及びプライバシー

従業員等、協力者等、取締役会のメンバー、そして当グループの経営幹部やパートナー等は、会社の資産の一部であるか又はMedactaの活動に固有のニュースや情報のうち、各自の職務や役割の遂行中に入手したか処理されたものについては、最大限の機密保持を徹底します。

機密情報の処理は、適用される法令を遵守して行われる必要があります。個人及び事業体の個人データの処理は、各国の現行の関連する法律に従って、また、特に機密保持及び個人の識別に関しては、権利、基本的自由、そして人間の尊厳を全面的に尊重して実施される必要があります。

全ての従業員等及び協力者等は、顧客との関係において、また、一般的には各自の業務活動中に接する対外的な関係において、各自の職務を遂行する上で知り得たニュース及び情報のうち、法令に基づく情報提供の対象とならないものについては、秘密を保持する義務を負っています。各従業員等は、他のMedacta従業員に対しても、機密保持義務に従う必要があります。

特に、各従業員は、自らの職務の遂行に必要な場合を除き、Medactaの商取引、生産、又はその他あらゆる種類の活動に関する情報を提供してはならず、また、会社の活動やデータに関する情報を公表してはなりません。各従業員は、自らにアクセス権限が付与されている文書のみを閲覧することができ、Medactaからの指示に従って、アクセス権を有する者に対してのみアクセスを許可し、自らの職務と職務上の義務に従ってそれらの文書を使用する義務を負っています。

各従業員は、Medactaが提供するセキュリティ対策を遵守すること、そして、自らに預けられた書類を整然と注意深く保管し、不必要なコピーは作らないことによって、起こり得るデータ漏洩を防止するものとします。この守秘義務は、上記の者と当グループとの雇用関係が終了した後も存続するものとします。Medactaは、自らの従業員等及び協力者等のデータの機密保持の権利を認め、適用される法律及び規制に従って、それらの使用、保管及びアクセスを保証します。

Medactaでは、ニュース、情報及びデータに関して、常に最大限の機密性を確保しています。



10. インサイダー取引

Medacta Group SA、Medacta International SA及びその子会社の従業員等及び取締役は、内部情報、すなわち、公開された場合には何らかの証券の取引価格に重大な影響を及ぼす可能性のある機密情報にアクセスしているか、又はアクセスする可能性があります。

従業員等及び取締役は常に、以下の行為を行わないようにする必要があります。

- インサイダー情報を利用して、直接又は第三者を通じて有価証券を売買したり、有価証券に由来する金融商品を利用すること、及び
- インサイダー情報を悪用して、直接若しくは間接的に、他の人物又は法人（家族、親戚及び友人を含みます。）に対して、有価証券の売買や有価証券から派生する金融商品の利用を勧めること（ティッピング）。

11. 知的財産及び産業財産

Medactaは、重要な知的財産権及び／又は工業所有権を保有しているか若しくは利用可能な状態にあり、これらの権利を正しく管理することは基本的なことだと考えられています。従って、Medactaの知的財産権及び／又は工業所有権に関するデータ、情報又は文書の取扱に何らかの形で関わる活動、業務又は役割を有する全ての従業員等及び協力者等は、それらのものを最大限の注意、正確性、そして機密性をもって保護する義務を負っています。

労働環境において開発された製品、作業活動及び／又は知識に関する知的財産権及び／又は工業所有権はMedactaに帰属しており、Medactaは、その時々で適用される規則に従って、最も適切だと考えられる方法・時期に従って、それらのものを利用する排他的な権利を有しています。

同様に、Medactaは他者の知的財産権及び工業所有権を尊重し、保護するものとし、会社の活動において使用するものは、正当な所有者から定期的にライセンスを受け、付与された権限に従って使用するオリジナルの製品及び著作物のみであることを保証します。

12. 会社の資産・資料の使用

全ての従業員等及び協力者等は、Medactaの会社資産を守らなければなりません。特に、従業員等及び協力者等の各々は、自らに委託された会社の財産及び資材の保護について責任を負っており、それらの使用について定めた会社の規則に沿った責任ある行動を通じて、（一例として、盗難、紛失、破損、不正使用又は不適切な使用から）それらを保護するために懸命に努力する義務を負っています。

電話、ファックス、インターネット、イントラネット、そして電子メール等、Medactaが提供するコミュニケーション手段は、業務目的にのみ使用しなければなりません。私的な使用は、業務の遂行に悪影響を及ぼさず、Medactaに費用が発生せず、かつ、Medactaに責任又は損害が生じさせない場合に限り、認められます。

会社財産を使用する従業員等及び協力者等はいずれも、損害や効率の低下を惹き起こす可能性があったり、いかなる形であれMedactaの利益に反するような不適切な使用は避けて、それらの使用においては真摯に業務に取り組み、また、諸手続に従って責任を持って行動しなければなりません。

上記は、会社財産の保護に具体的に関与する範囲で、Medactaの商品、資材又は資源を使用することが認められている限りにおいて、パートナー等にも適用されます。

13. マーケティング・広告の実践

あらゆる販売及びマーケティング活動は、特定の現地市場向けに承認された添付文書に従ってなければなりません。

Medactaは、マーケティング及び広告活動を管理する現地、地域、及びその国に固有の法律及び規制を遵守します。

Medacta製品のマーケティング及び広告活動は、社内の事前承認プロセスに従うものとします。

従業員等は、所定の市場でパートナー等と共用することが承認されている販促資料のみを使用することができます。

ある疾患について患者を教育することを目的とした資料も、販促資料とみなされる場合があります。

状況によっては、医療従事者（以下「HCP」といいます。）や医療機関（以下「HCO」といいます。）がデモ製品を評価し、将来的に使用、注文、購入又は推奨するかどうかを決定することができるように、これらの者に対して、評価目的でデモ製品を提供することが許可される場合があります。

14. 医療従事者・医療機関との交流

Medactaは、医療サービス提供者との倫理的な交流に尽力しています。

医療従事者との強力な専門的協力関係は、Medactaの成功と患者ケアにおける継続的な改善・革新にとって不可欠なものです。

我々は、我々のビジネスのあらゆる側面において誠実かつ公正であり、我々がビジネスを行っている全ての人々との関係においては、同じことを求めています。

従業員等及び協力者等は、HCP/HCO及び国家公務員との間で各自が行う可能性のあるあらゆる接触について適用される法律及び規制を知り、遵守するために、必要なあらゆる措置を講じるものとします。

医療機器の製造者として、Medactaは、米国のAdvaMed、欧州のMedTech Europeの規範、そしてその他の市場で使用されている類似の業界参照コード（付属書類1）に従っています。

適用される法律及び産業コードは、HCP/HCO又は国家公務員が居住している国、又はそれらの者が診療免許を持っている国のものです。

従業員等は、HCP/HCO、政府関係者又はその他の者に対して（直接にも間接的にも、現金又は現物により）不適切な支払を行ってはなりません。従業員等は、不適切な支払を他者に働きかけたり、他者がそのような支払を申し出たり行うことを認めてはなりません。

HCP又は国家公務員の近親者を、HCP若しくは国家公務員による製品又はサービスの使用や取得を促進したり、ビジネスを実行又は維持するために従業員や第三者代理人として雇用することは禁止されています。

Medactaの事業活動に関連してHCPとの間で開催されるあらゆる会合は、専門的で適切な目的を有していなければなりません。

製品を安全かつ効果的に使用するための支援として、HCPに製品の教育や訓練を提供することは認められています。そのようなイベントにHCPによる出張が含まれている場合には、適用されるあらゆる法律及び規範に従った合理的な旅費及び適度な宿泊費を支払うことが認められています。

従業員等は、製品購入に対する謝礼として、又は製品購入を不適切に誘引するために、HCPを会議に招待したり、会議に出席するための費用を支払ってはなりません。

従業員等は、Medactaの制限事項を遵守し、適用される法律及び規範を遵守することを条件として、商談中の礼儀として昼食又は夕食を提供することができます。

適用される法律及び業界規範の下で認められている場合には、贈答品をHCP/HCO又は政府当局者に渡すことができます。贈答品は、適度な価格のものでなければならず、頻繁に渡してはなりません。これには、患者にとって有益なもの、又は純粋な教育的機能を有する教育用の品物が含まれる場合があります。

状況によっては、MedactaがHCP/HCOと契約を締結することが適切だと考えられる場合があります。適切な契約の例を以下に示します。

- コンサルティング、
- 研究員向けの奨学金、
- 専門家会議及び講演活動、
- 教育活動、
- 臨床的性質を有する研究・発表、
- ライセンス契約、
- 研究、奨学金、寄付。

あらゆるコンサルティングの手配は、文書化されたニーズ評価に基づいて行われます。採用すると選定されたコンサルタントは全て、適用される手順に従ってコンプライアンス委員会の承認を受けます。この選択は、MedactaのニーズとHCPのスキルや経験に基づいて行われます。選択されたHCP/HCOに対する過去、現在又は将来の売上等、不適切な要因によって影響を受けてはなりません。

HCP/HCO又は政府職員に対する支払は全て、関連する手順に従って、事前の承認を受けなければなりません。Medacta（又はMedactaのために行為する第三者の代理人又はその他の者）が行った支払は全て、正確に文書で記録しなければなりません。

Medactaは、HCPが製品又はサービスの開発に実質的に相当する貢献をすることが期待される場合、又は既に貢献している場合に限り、いずれかの製品又はサービスについて、HCPと知的財産権に関する契約を締結することができます。

Medactaは、適用されるあらゆる法律、業界規範及び本規範に従った教育、慈善事業又は人道的な目的のための助成金又は寄付を行うことができます。

Medactaでは、医療従事者と倫理的な交流を行っています。



15. 競争及び公正取引

Medactaは、公正な競争を守るために設定されたあらゆるルールに従って、自らが展開する競争条件での事業を行うことを保証します。Medactaは、違法な、詐欺的な、不正な、又はその他誠実なルールに有害な行為又は事業活動は拒絶します。

特に、所有者の同意なしに他者の企業秘密や専有情報を不正に入手又は使用したり、他社の過去又は現在の従業員等からそのような情報の開示を受けることは固く禁じられています。

Medactaは、あらゆる利害関係者との透明かつ公正な関係を支援しており、ビジネス慣行が不正な方法で競争上の優位性を持たないように実施されることを保証します。

16. 情報公開

Medactaは上場企業として、公式声明及び開示に関する一定の基準を遵守する義務を負っています。Medactaは、適用される法令並びに証券取引所の要求事項に従って、株主及び投資業界に向けた情報の透明性及び正確性を向上させます。

17. 調査及び公的機関への対応

諸機関及び公的機関との関係は、適法性、透明性及び公正性の原則に基づいていなければなりません。

国内外の諸機関や公的機関との交流や関係においては、相手方の意思決定に不適切な影響を及ぼす可能性のある行為は一切禁止されています。

特に、調査や査察の際には、従業員等は、誠実で透明性のある、正確な方法で協力し、情報を提供することが求められており、また、いかなる形でも、諸機関や公的機関の業務を遅らせたり、妨げてはならないこととなっています。



18. 購買業務

パートナー等の選択と、商品やサービスの購入の決定は、本規範の原則を遵守して、サービスの有用性のみならず、支援、適時性、そして効率性の保証に基づいて行われなければなりません。

Medactaは、品質、価格及び価値に基づいてのみ商品及びサービスを調達し、サプライヤーを公平でオープンな形で、かつ誠実に扱います。

我々は、我々の製品に使用する原材料を責任を持って調達し、特に人権や労働条件の尊重を含む適格性確認プロセスに基づいてサプライヤーを選定することを約束します。

**Medactaでは、徹底した適格性評価プロセスを通じて
サプライヤーを選定しています。**

19. 違反及び報告

本規範に含まれている規定についての取締役、従業員等、協力者等又はパートナー等による何らかの違反があった場合には、Medactaを潜在的な損害に直面させることとなり、Medactaとの間に築かれた価値観に基づく信頼関係を損なうこととなります。

このため、取締役、従業員等、協力者等及びパートナー等は、違反が確認された場合又は違反が疑われる場合には、匿名のオンラインフォーム (<https://www.medacta.com/EN/compliance-global-about-us>) を通じて、又は従業員等の場合は直属の上司及びHR又はコンプライアンス部門若しくは法務部門に、書面により速やかに報告することが求められています。

Medactaは、そのようなケースに適用される法律、規制及び法的手続の規定を損なうことなく、受領した報告の機密性及び匿名性を保護することを約束します。

報告は、違反の条件を特定し、Medactaが適切な調査を実施できるようにするために十分な情報が含まれている場合にのみ、考慮されることとなります。

Medactaは、取締役、従業員等及び協力者等が違反を速やかに報告することを奨励しており、いかなる場合においても、報告がなくても違反に気付いた場合には調査を行うことを約束します。

Medactaは、オープンにコミュニケーションを行うことができるのも本規範を実施するために必要な条件であることを前提として、誠実に行われた報告及び開示に対する見返りやいかなる種類の差別的な結論も容認しないこととなっています。

あらゆる従業員等、協力者等及びパートナー等は、本規範に従っていない違反や行動に関する社内調査にも協力することが求められています。

報告義務を含め、本規範のルールを遵守することは、従業員等、協力者等及びパートナー等の契約上の義務の不可欠な一部であるものとみなされなければなりません。本規範のルールについての違反は、本規範が正確で拘束力のある行動基準を制定するものであるため、契約上の義務の違反となります。

20. 承認及び改訂

本規範は、Medacta Group SAの取締役会により承認され、当グループに属する会社の取締役により実施されます。

Medactaは、本規範の見直しを継続的に行います。規制上の調整又は市民意識の向上による今後の更新は、取締役会によって承認され、従業員等、協力者等及びパートナー等に対して速やかに伝達されることとなります。

21. 本規範の伝達及び公表

Medactaは、本規範を全ての関係者に普及させることを約束します。

Medactaは、自らの従業員等に、本規範の規定及び適用について知らせ、それと同時にコンプライアンスを推奨し、以下のことを保証します。

- 本規範に含まれている規定の解釈及び明確化、
- 本規範の効果的な遵守の確認、
- その時々で生じるニーズに合った、本規範の規定についての将来的な更新及び実施。

また、Medactaは、商業的・専門的な関係を有する我々の協力者等及びパートナー等の全てに対しても、それらの者が本規範に規定されている基準に従うように本規範を周知させ、共有することを約束します。

最大限に普及させるようにするため、本規範は以下のインターネットアドレス上に掲載されています。

<https://www.medacta.com/EN/code-of-business-conduct>



付属書類 1

各国の倫理規定

- EUエリア ⇒ MedTech Europe Code of Ethical Business Practice
- 米国 ⇒ AdvaMed Code of Ethics
- オーストラリア ⇒ Medical Technology Industry Code of Practice
- 日本 ⇒ 医療機器業公正競争規約

事業者団体:

- **Medacta International:**
MedTech Europe (法人会員)
Swiss Medtech (会員)
- **Medacta France:**
Snitem (会員)
- **Medacta Australia:**
MTAA (会員)
- **Medacta Austria:**
Austromed (会員)
- **Medacta Belgium:**
beMedTech (会員)

上記のリストはあくまでも参考のためのものであり、全てを網羅しているものではありません。

連絡先

Medacta International

Strada Regina
6874 Castel San Pietro - Suiza

電話: +41 91 696 60 60
ファックス: +41 91 696 60 66
Correo: info@medacta.ch



もっと見る

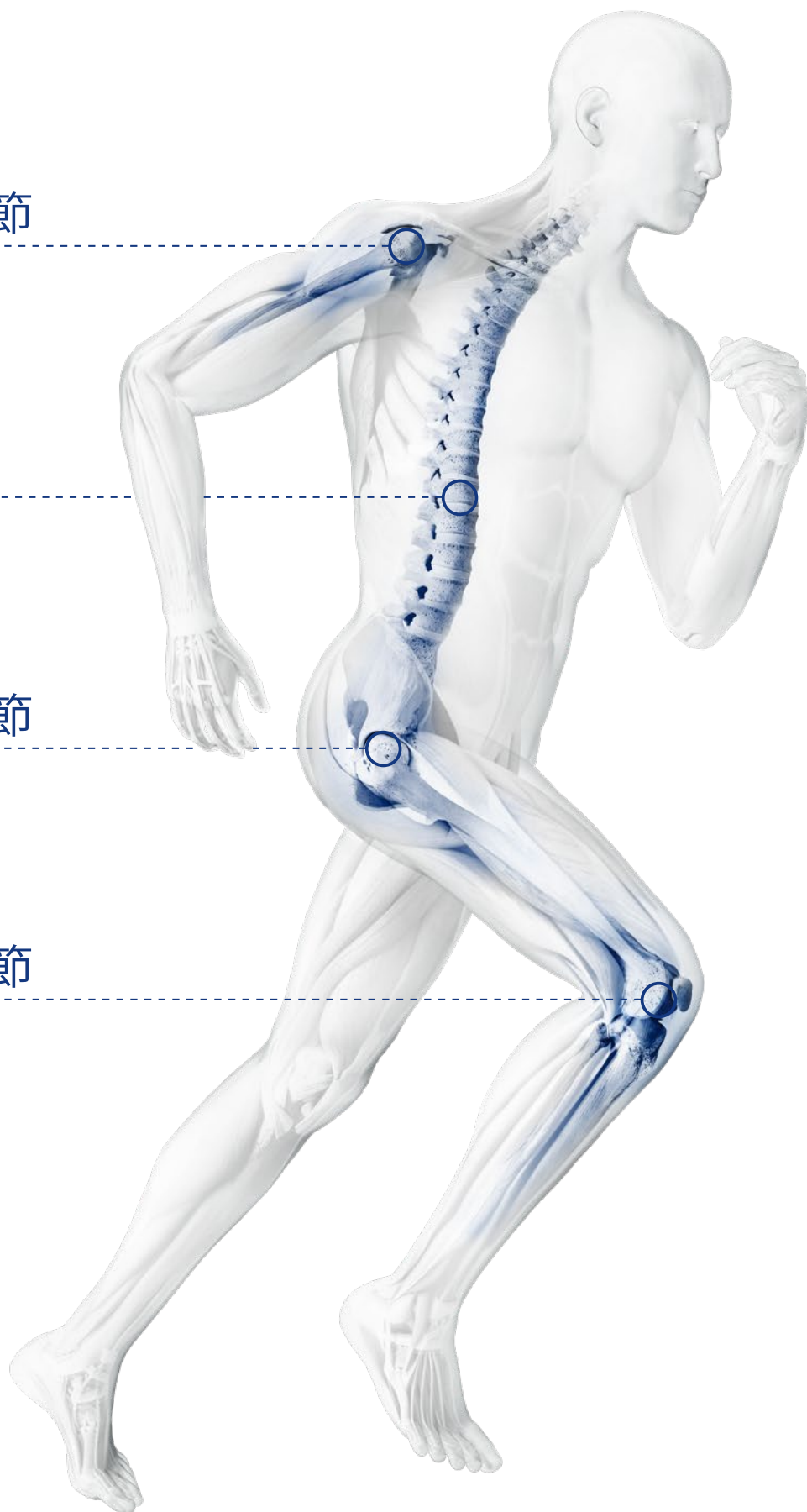
www.medacta.com

肩關節

脊椎

股關節

膝關節





スキャン及びダウンロード
あなたのデジタルバージョン